



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 ITbook 株式会社

コード番号 3742 URL <http://www.itbook.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 CEO

(氏名) 恩田 饒

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 山口 成一

TEL 03-6435-8711

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	212	132.2	△116	—	△113	—	△115	—
25年3月期第1四半期	91	—	△65	—	△65	—	△66	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △115百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △66百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△1,456.56	—
25年3月期第1四半期	△848.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	737	216	29.2
25年3月期	868	328	37.7

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 215百万円 25年3月期 327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	635	81.1	△41	—	△38	—	△42	—	△2.66
通期	1,800	57.5	80	136.2	88	101.2	76	138.0	4.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株を200株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は963円51銭になります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	79,353 株	25年3月期	78,878 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	— 株	25年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	79,096 株	25年3月期1Q	78,383 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(セグメント情報等)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和をはじめとした各種経済政策による円高の是正、株価高を背景に、新興国における成長の鈍化等不安要因はあるものの、穏やかな回復の兆しが見られました。

当社グループが事業領域とする情報システム業界は、「クラウドコンピューティング」の普及に象徴されるように変革期を迎えております。

このような状況のもと、当社グループは、成長力の高い企業集団を目指し、優秀な人材の確保を進め、クラウド等を中心にコンサルティングメニューの拡大、質的向上を図り、受注活動に注力してまいりました。

コンサルティング事業におきましては、売上の支柱である官庁、地方自治体をはじめとした公共部門に関して、売上高が3月の連結会計年度末に集中する傾向があるため、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期と同水準で推移しました。

システム開発事業におきましては、コンサルティング事業とのシナジー効果を狙い、業務範囲の拡充等、事業機会の拡大を積極的に進めてまいりました。

また、平成25年4月には、動画配信、Webシステム開発を中心に事業展開をするシーエムジャパン株式会社を連結子会社といたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は212百万円（前年同四半期比 132.2%増）、営業損失は116百万円（前年同四半期は65百万円）、経常損失は113百万円（前年同四半期は65百万円）、四半期純損失は115百万円（前年同四半期は66百万円）となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

① コンサルティング事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は41百万円（前年同四半期比 9.2%増）、セグメント損失は97百万円（前年同四半期は61百万円）となりました。なお、受注活動に関しましては、計画どおり順調に推移しました。

② システム開発事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は171百万円（前年同四半期比 219.6%増）、セグメント損失は11百万円（前年同四半期は0百万円のセグメント利益）となりました。なお、受注活動に関しましては、計画どおり順調に推移しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は次のとおりです。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、737百万円（前連結会計年度末比131百万円減少）となりました。

これは主に、現金及び預金が19百万円、仕掛品が48百万円それぞれ増加したものの、売掛金が258百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、521百万円（前連結会計年度末比18百万円減少）となりました。

これは主に、買掛金が29百万円、短期借入金が20百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、216百万円（前連結会計年度末比112百万円減少）となりました。

これは主に、四半期純損失115百万円の計上に伴う利益剰余金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月15日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

※ 業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	161,903	181,748
受取手形及び売掛金	387,441	140,321
商品	—	4,117
仕掛品	2,113	50,134
貯蔵品	443	271
その他	11,774	14,289
貸倒引当金	△206	△156
流動資産合計	563,468	390,726
固定資産		
有形固定資産	10,715	12,280
無形固定資産		
のれん	219,731	228,191
その他	5,247	7,151
無形固定資産合計	224,978	235,343
投資その他の資産		
その他	70,161	99,502
貸倒引当金	△609	△609
投資その他の資産合計	69,552	98,893
固定資産合計	305,246	346,516
資産合計	868,715	737,243
負債の部		
流動負債		
買掛金	64,316	34,323
短期借入金	120,500	100,500
1年内返済予定の長期借入金	19,080	22,080
未払法人税等	13,788	2,307
賞与引当金	14,993	9,325
役員賞与引当金	1,750	875
その他	149,481	145,235
流動負債合計	383,910	314,646
固定負債		
長期借入金	119,020	169,634
その他	36,957	36,957
固定負債合計	155,977	206,591
負債合計	539,887	521,237
純資産の部		
株主資本		
資本金	881,369	883,086
資本剰余金	151,299	153,016
利益剰余金	△705,571	△820,780
株主資本合計	327,096	215,322
新株予約権	1,731	472
少数株主持分	—	211
純資産合計	328,827	216,005
負債純資産合計	868,715	737,243

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	91,736	212,981
売上原価	66,254	165,594
売上総利益	25,482	47,386
販売費及び一般管理費	90,868	164,090
営業損失(△)	△65,385	△116,703
営業外収益		
受取利息	6	10
受取出向料	—	3,500
助成金収入	83	8
その他	15	137
営業外収益合計	105	3,655
営業外費用		
支払利息	29	853
その他	—	16
営業外費用合計	29	869
経常損失(△)	△65,309	△113,918
税金等調整前四半期純損失(△)	△65,309	△113,918
法人税、住民税及び事業税	1,212	1,338
法人税等合計	1,212	1,338
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△66,522	△115,256
少数株主損失(△)	—	△48
四半期純損失(△)	△66,522	△115,208

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△66,522	△115,256
四半期包括利益	△66,522	△115,256
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△66,522	△115,208
少数株主に係る四半期包括利益	—	△48

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンサルティング 事業	システム開発 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	38,123	53,613	91,736	91,736	—	91,736
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	38,123	53,613	91,736	91,736	—	91,736
セグメント利益又は 損失(△)	△61,520	529	△60,991	△60,991	△4,394	△65,385

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額はのれんの償却額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンサルティング 事業	システム開発 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	41,634	171,346	212,981	212,981	—	212,981
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	180	180	180	△180	—
計	41,634	171,526	213,161	213,161	△180	212,981
セグメント損失(△)	△97,174	△11,056	△108,230	△108,230	△8,473	△116,703

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△8,473千円には、のれんの償却額△14,323千円、セグメント間取引消去5,850千円が含まれております。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

株式分割及び単元株制度の採用

当社は、平成25年7月17日開催の取締役会において、株式分割の実施及び単元株制度の採用について、下記のとおり決議いたしました。

1. 株式分割及び単元制度採用の目的

全国証券取引所が、平成19年11月27日に公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨を踏まえて、当社株式を上場している証券市場の利便性・流動性の向上に資するため、1株を200株に分割するとともに、1単元の株式数を100株とする単元株制度の採用を行います。

2. 株式分割の概要

(1) 分割方法

平成25年9月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を1株につき200株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数（平成25年7月17日現在）

- | | |
|------------------|-------------|
| ① 株式分割前の発行済株式総数 | 79,353株 |
| ② 株式分割により増加する株式数 | 15,791,247株 |
| ③ 株式分割後の発行済株式総数 | 15,870,600株 |
| ④ 株式分割後の発行可能株式総数 | 26,000,000株 |

(注) 上記の株式数は、新株予約権の行使等により、株式分割の基準日までの間に増加する可能性があります。

(3) 分割日程

- | | |
|----------|------------|
| ① 基準日公告日 | 平成25年9月13日 |
| ② 基準日 | 平成25年9月30日 |
| ③ 効力発生日 | 平成25年10月1日 |

3. 単元株制度の採用

(1) 新設する単元株式の数

「2. 株式分割の概要」の効力発生日である平成25年10月1日をもって単元株制度を採用し、単元株式数を100株とします。

(2) 新設の日程

効力発生日 平成25年10月1日

4. 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、それぞれ下記のとおりとなります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額(△)	△4円24銭	△7円28銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。